

ポスターセッションに関する規定について

2016年7月26日
第13回全日本民医連看護介護活動研究交流集会運営委員会

連日の奮闘に心より敬意を表します。

このたびは、第13回看護介護活動研究交流集会(看介研)への演題のご応募ありがとうございました。当日の運営を円滑に進めるために、以下の内容をご確認いただき、ご準備をよろしく願います。

1. ポスターセッションとは

看介研でポスターセッションを取り入れるのは今回が8回目です。ポスターセッションは、発表内容をポスター形式にまとめ、展示・発表するものです。各学会でも好評で、発表形式として採用する学会も増えてきています。看介研でもこのポスターセッションを口演と同様に位置づけ、重視しています。

ポスターセッションには以下のような利点があります。

- ① 展示期間中、参加者は自由にポスターを見ることができる。
- ② そのため、ギャラリーがあらかじめ質問を準備し、発表を聞いてからあらためて見ることができる。
- ③ ポスターを前に、ギャラリーと発表者という少人数で直接、質疑応答ができる。

2. ポスター作成について

(1) ポスターの大きさ と 掲示

所定の範囲内であれば、自由な形での使用を可とします。
掲示可能なスペースは、縦1800mm.×横1100mm.です。
上部の縦300mm.を見出し掲示スペースとして使用します。
見出しは全日本民医連で準備します。見出しには【演題番号・県連・事業所・発表者名・演題名】を表示します。

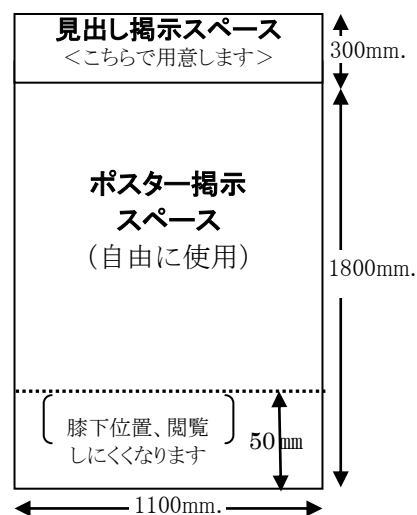
掲示スペースに収まる程度の大きさであれば、文章・グラフ・写真・絵などを使用して自由にレイアウトを行えます。ただし、パネルの下部500mmは膝下の位置になります。最大限使用すると、発表時などに閲覧しにくくなることを考慮してください。なお、会場には予備の模造紙は用意していません。

参考

(模造紙の寸法)縦1091mm.×横788mm.

(A4用紙1枚の寸法)縦210mm.×横297mm.(横長使用)

《パネル使用例》



(2) 作成のポイント

- ① 主張を明確にする。(調査の結論や発表者の意見がはっきりわかる)
- ② 発表内容は起承転結を明確にし、研究(発表)の目的・方法・結果・考察などに分け、小見出しをつける。
(例)【目的】【方法】【結果】【考察】など

- ③ 簡潔に表現する。(限られたスペース内におさめ、発表者がいなくても見ればわかる)
- ④ 図表・写真を使用するなど視覚にアピールする。
- ⑤ 見やすいものをつくる。
 - ・ 文字：1文字は1センチ以上の大きさ。色を付ける。強調する部分は太字などを活用。
 - ・ 図表：離れて見てわかるよう大きく太い線で。写真はハガキ大以上のものを使用するなど。
 - ・ レイアウト：文字、図表の工夫した配置を意識する。
- ⑥ 掲示物に関しては、説明者がいない時にも参加者が読んで理解できることが望ましい。
- ⑦ 掲示物の文字は、できるかぎりパソコンや印刷で作成し、大きさは30ポイント以上が望ましい。
 - * フォントは見やすいものであればよく、特に定めはありません。

3. ポスターセッションの運営について

(1)ポスターの張り出しについて

展示・撤去は発表者自身でお願いします。貼り出す場所は当日ご案内します。

貼り出しは10月23日(日)8:15～9:00にお願いします。張り出しは画鋏でお願いします(テープ不可)。画鋏は一定数、事務局で用意します。

(2)撤去について

撤去時間は、10月24日(月)12:00～13:00です。必ずこの時間帯に責任を持って撤去をお願いします。看介研開催中の撤去は禁止です。

*** 名医連表彰の推薦を受けたポスターについては、撤去せずそのまま事務局にてお預かりいたしますのでご了承ください。**

(3)発表順・発表・討論時間

- ・ 各ポスターの展示会場や発表順などの詳細は、『プログラム・抄録集』(各県連へ9月下旬頃発送予定)をご参照ください。
- ・ 1演題につき、発表時間は5分です。一コマ1時間で6～7演題のポスター発表を行います。予定された演題の発表が全て終了した後に、質疑応答の時間となります。発表者は、割り当てられた時間内は、ポスターの前で質疑応答に対応してください。
- ・ 運営の都合上、若干時間を変更する場合があります。

以上

(問い合わせ先)

全日本名医連事務局 職員育成部 山城淳二・須田登志江

所在地:東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階

TEL:03-5842-6451

FAX:03-5842-6460 Mail: min-ikusei@min-iren.gr.jp